

第10回 NUSR-CeSPI合同セミナー/第39回 細胞生理学セミナー GTRセミナー

日時：2024. 2. 9 (金) 14:00 - 15:30

@オンライン開催

清中 茂樹 教授

名古屋大学大学院工学研究科生命分子工学専攻

“分子標的ケモジェネティクス
～次世代細胞操作および新たな創薬の可能性～”

神経科学研究に不可欠な細胞操作技術として、オプトジェネティクスやケモジェネティクスが知られる。中でもケモジェネティクスは、非侵襲的に標的細胞を活性制御できるin vivo制御法として、広く認知されている。しかし、細胞に内在する受容体の機能制御には応用できない。そこで、我々は細胞種選択的に標的受容体を制御することを目指した「分子標的ケモジェネティクス」と名付けた新たなケモジェネティクス手法の開発を進めている。

本発表では、我々のこれまでの成果および現在進めている研究内容について、今後の展望・可能性も含めて報告および議論させていただきたい。

大学院創薬科学研究科 先端薬科学特論：単位認定講義



PDFファイルの方は
[ここをクリックして](#)
[登録して下さい](#)

連絡先

名古屋大学細胞生理学センター 大嶋 篤典
atsu@cespi.nagoya-u.ac.jp 052-747-6837

